


**日本KFCホールディングス株式会社**  
**2023年3月期 決算説明会**

**2023年5月11日（木）**

**（東証スタンダード 証券コード 9873）**






# 2022年度 決算実績と2023年度 業績見通し

取締役 専務執行役員 蜂谷 由文

# 2023年度 事業運営方針

代表取締役社長 判治 孝之



**2022年度 決算実績  
2023年度 業績見通し**

**取締役 専務執行役員 蜂谷 由文**

# 2022年度 実績ハイライト

<b>KFCチェーン売上高</b>	<b>既存店売上高</b>	<b>店舗数</b>	<b>デリバリー店舗数</b>
<b>1,593億円</b> 上場以来最高 前年比 +3.8%	前年比 <b>+0.5%</b> 2019年度比 <b>+20.8%</b>	<b>1,197店舗</b> 過去最高 前期末比 +25	<b>718店舗</b> 前期末比 +121

## 2022年度 連結実績

<b>売上高</b>	<b>営業利益</b>	<b>経常利益</b>	<b>当期純利益</b>
<b>999億円</b> 前年比 +2.5%	<b>36億円</b> 前年比 ▲24億円	<b>43億円</b> 前年比 ▲25億円	<b>24億円</b> 前年比 ▲20億円

# 連結損益

単位：百万円

	2022年度 通期		2021年度 通期		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	99,926	-	97,520	-	2,406	-
売上総利益	40,531	40.6%	40,909	41.9%	▲377	▲1.4%
販売管理費	▲36,909	▲36.9%	▲34,802	▲35.7%	▲2,106	▲1.2%
営業利益	3,622	3.6%	6,106	6.3%	▲2,484	▲2.6%
営業外損益	722	0.7%	832	0.9%	▲110	▲0.1%
経常利益	4,344	4.3%	6,939	7.1%	▲2,594	▲2.8%
純利益	2,489	2.5%	4,557	4.7%	▲2,068	▲2.2%

持分法による投資利益（519百万円）を営業外損益に計上しております。詳細につきましては、2023年5月11日公表の「営業外収益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(2023年5月11日開示資料より)

## 営業外収益（持分法による投資利益）の計上について

当社の持分法適用関連会社であるBamboo (Thailand) Holding Pte. Ltd.においては、外国人観光客の受入再開、行動制限の緩和等により業績回復の兆候が見え始めている一方、株式会社ビー・ワイ・オーにおいては、ライフスタイルの変化や物価高騰に伴う消費者マインドの低下により、外食機会の減少等の影響が生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

これにより、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、持分法による投資利益137百万円を営業外収益に計上いたしました。この結果、2023年3月期において、持分法による投資利益519百万円を営業外収益に計上いたしました。

(持分法による投資損益の内訳)

(単位：百万円)

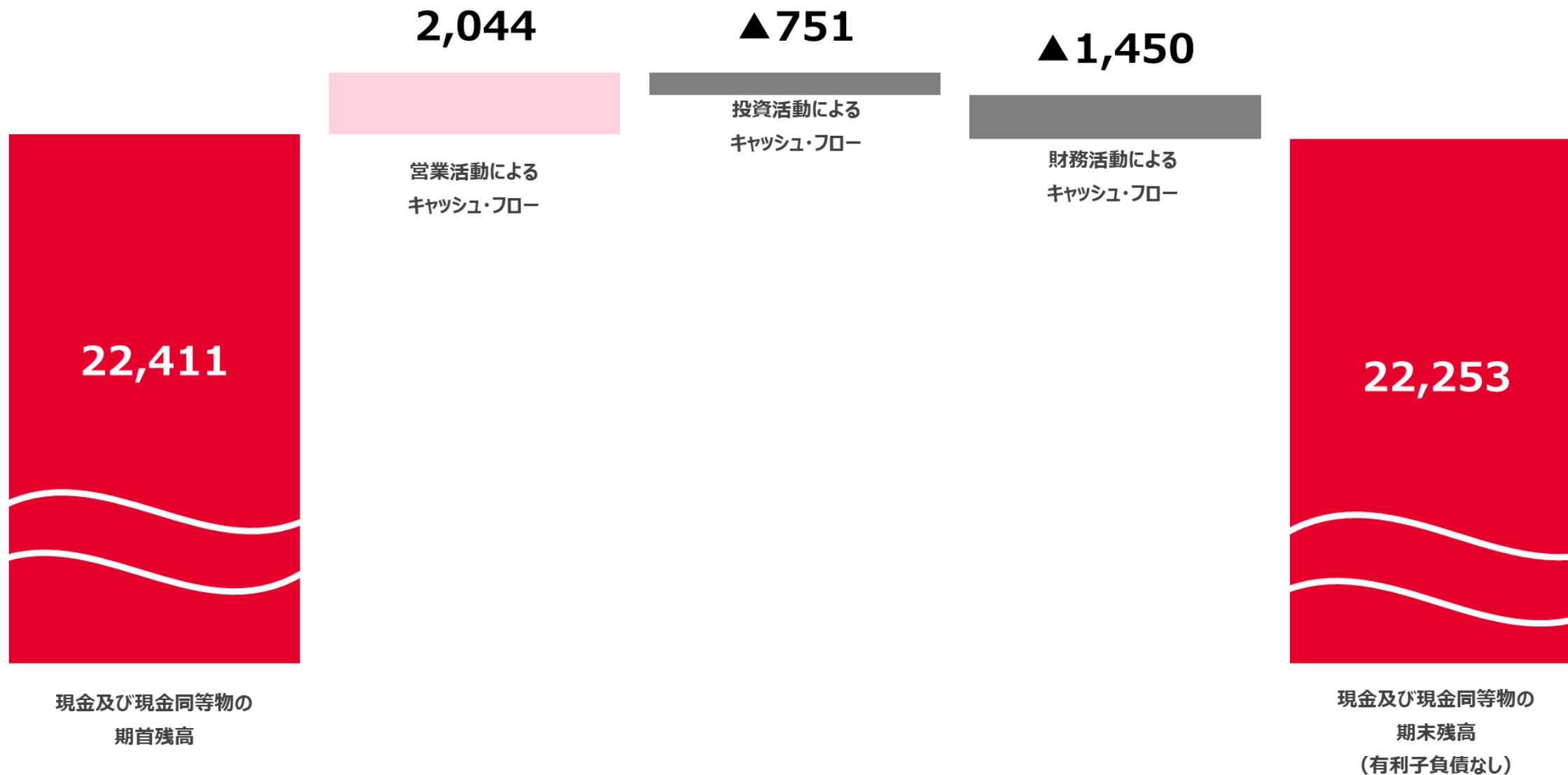
	出資時から 2022年3月期	2023年3月期			出資時から 2023年3月期
	累計損益	第3四半期 累計損益	当第4四半期 計上損益	2023年3月期 累計損益	累計損益
Bamboo(Thailand) Holding Pte. Ltd.	236	477	213	691	928
株式会社ビー・ワイ・ オー	▲2,885	▲95	▲76	▲172	▲3,057
合 計	▲2,648	382	137	519	▲2,129

# 連結財務指標

指 標	2022年度末	2021年度末
自 己 資 本 比 率 (%)	56.8	56.0
自 己 資 本 利 益 率 (%)	9.1	18.1
総 資 産 純 利 益 率 (%)	5.1	10.1
1 株 当 た り 純 資 産 (円)	1,248	1,198
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	111.4	203.9
期 末 日 株 価 終 値 (円)	2,829	2,842
時 価 総 額 (百万円)	63,215	63,479

# 連結キャッシュ・フロー

単位：百万円

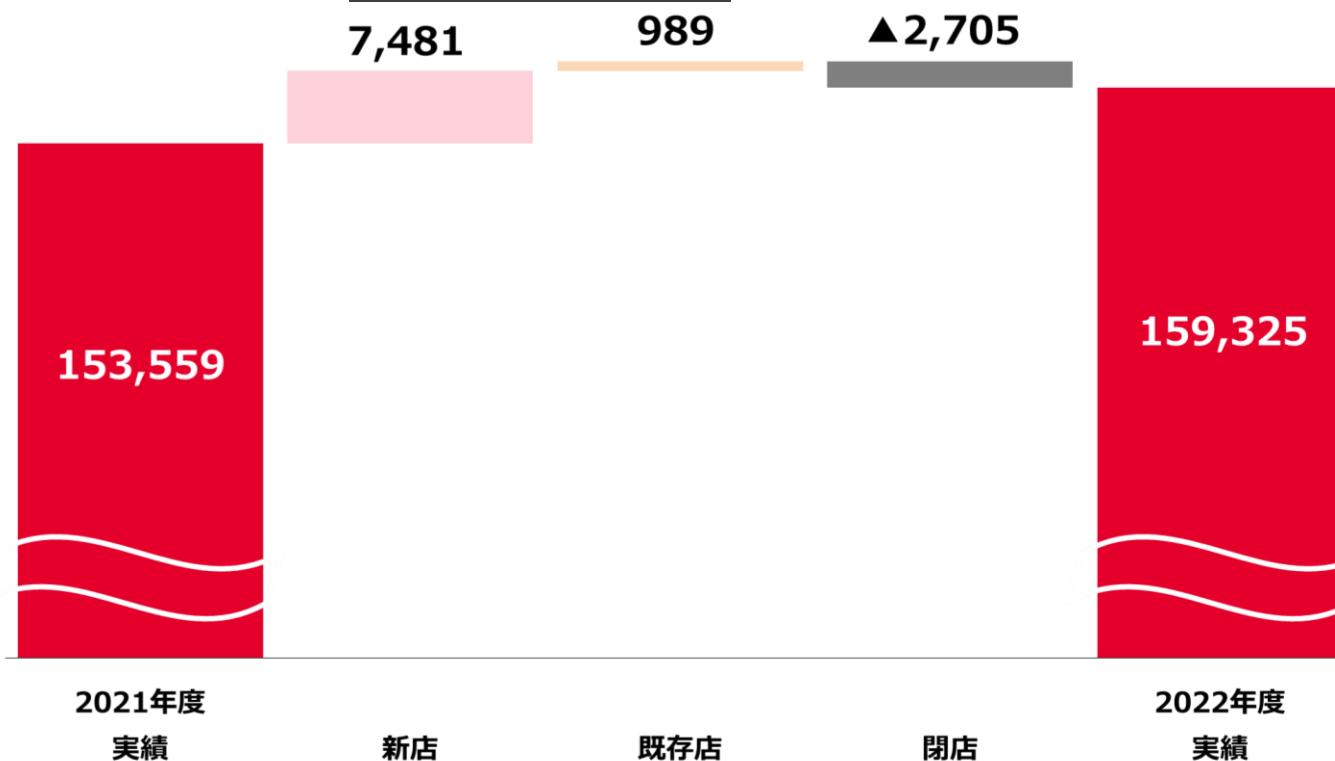




# KFC事業 チェーン売上高（通期）

単位：百万円

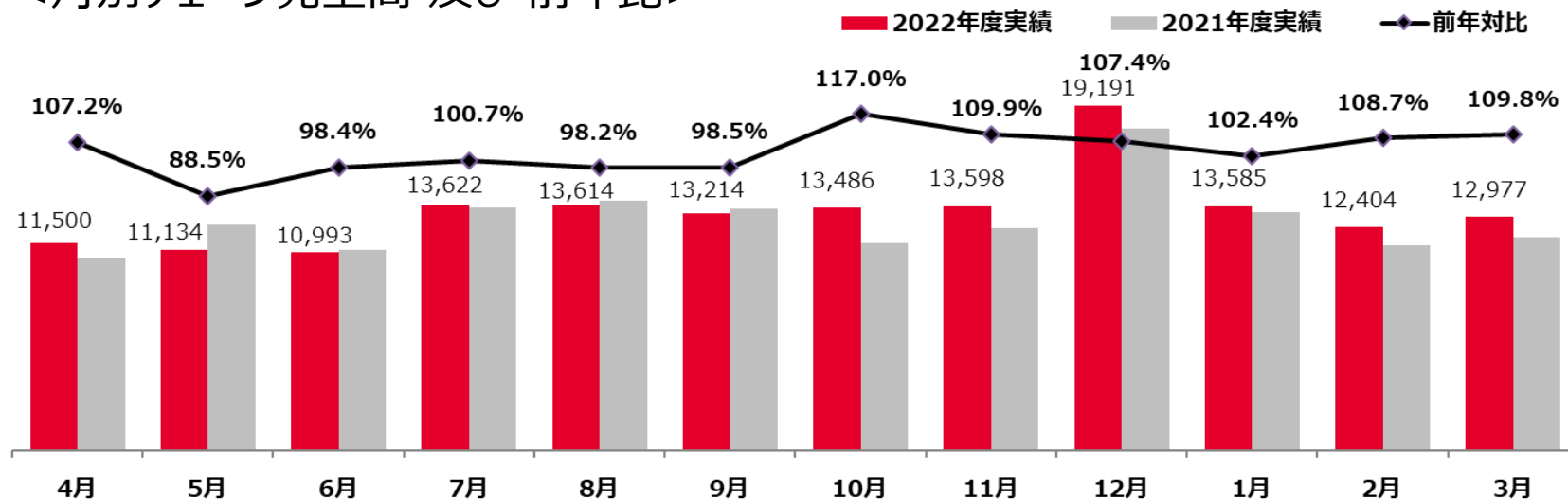
	2022年度実績	2021年度実績	増減
直営	43,840	43,141	698
フランチャイズ	115,485	110,418	5,066
チェーン売上高	159,325	153,559	5,765



# 月別チェーン売上高・既存店前年比

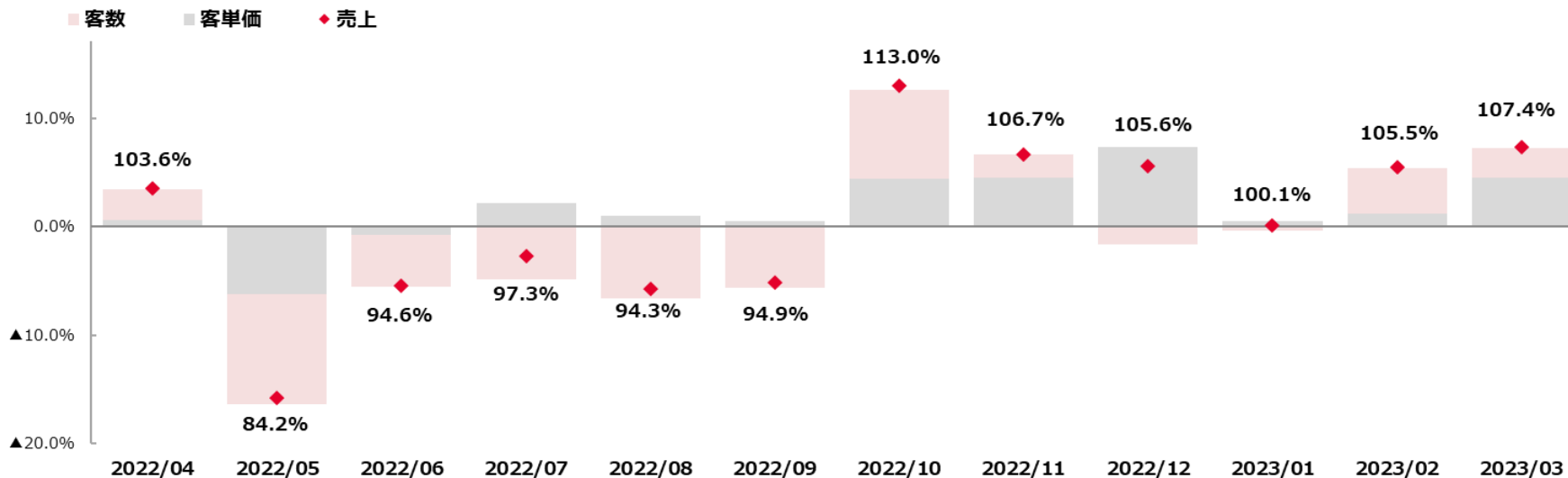
単位：百万円

## <月別チェーン売上高 及び 前年比>



通期前年対比  
売上高 103.8%

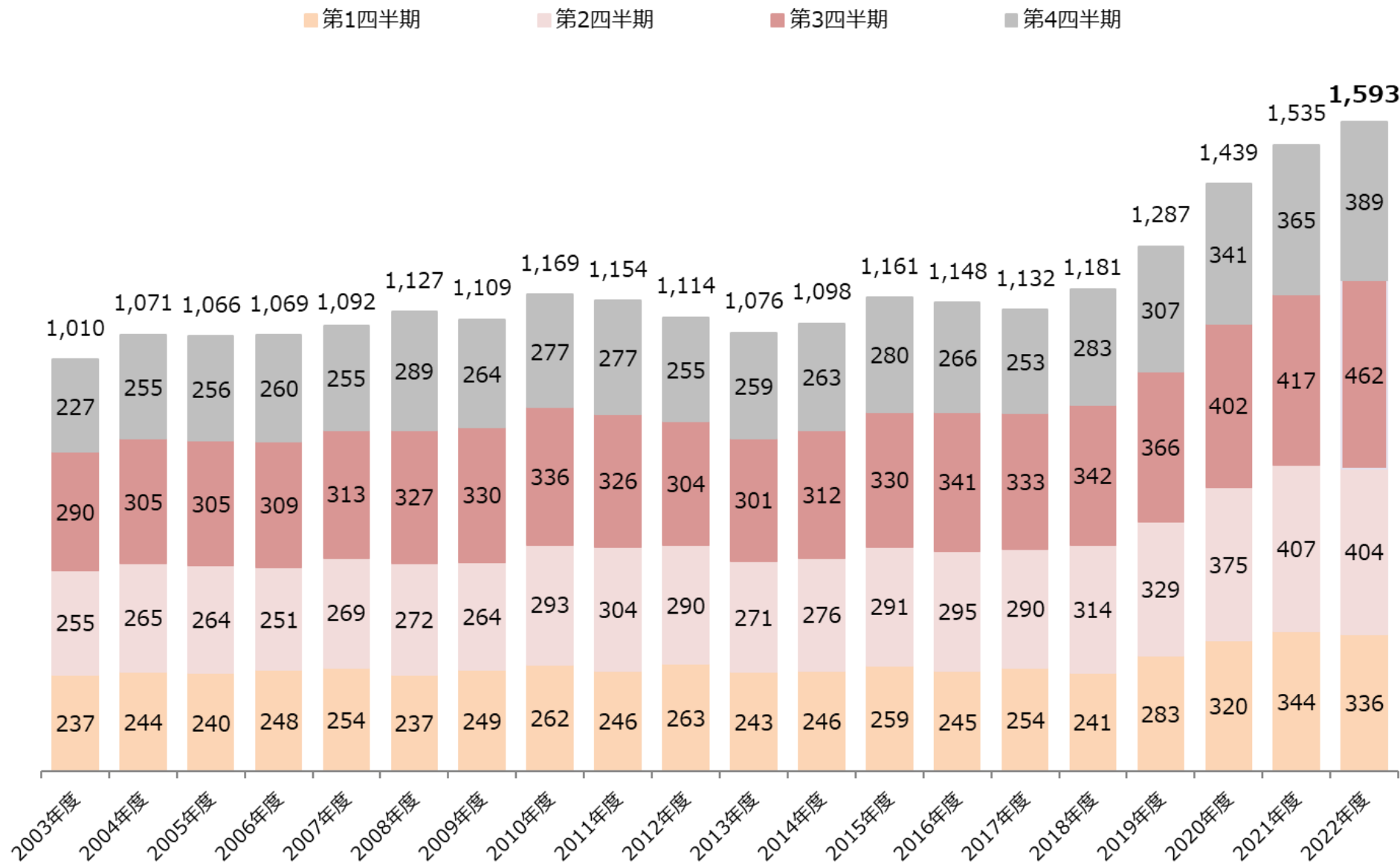
## <月別既存店前年比 内訳 (客数・客単価)>



通期前年対比  
売上高 100.5%  
客数 98.7%  
客単価 101.9%

# 年度別チェーン売上高 長期推移

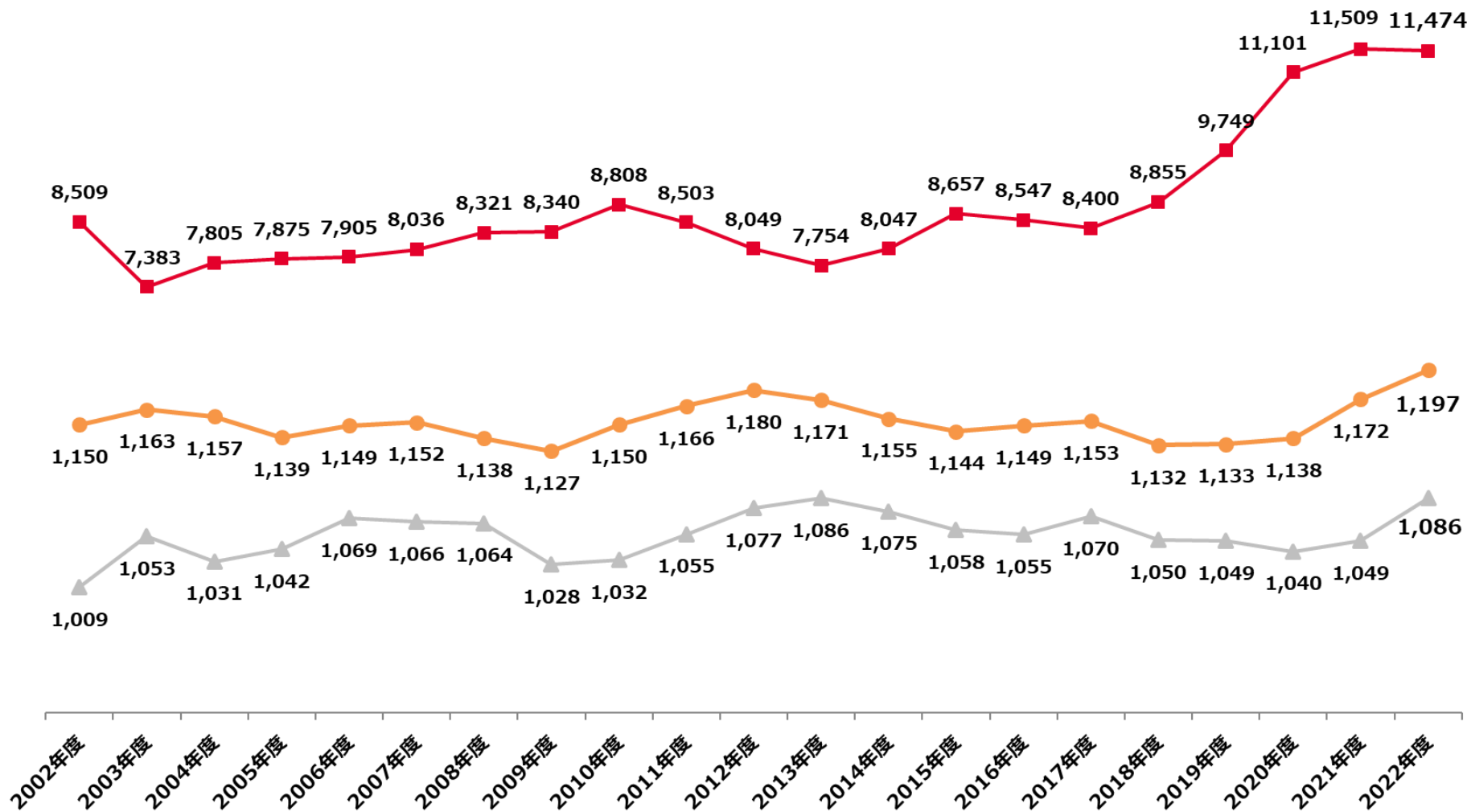
単位：億円



# 既存店平均売上高 長期推移

単位：千円

■ 1店舗あたり平均月商 (通期) ▲ 稼働店舗数平均(店) (通期) ● 期末店舗数(店)



※稼働店舗：営業している店舗のみを指す。改装等で休業している店舗は除く。

# 2023年度 業績予想

単位：百万円

	2023年度 予想	2022年度 実績	増減
売上高	105,491	99,926	+5,564
営業利益	3,097	3,622	▲524
経常利益	3,047	4,344	▲1,297
当期純利益	2,006	2,489	▲482

年間配当金といたしましては、  
中間配当として25円、期末配当として25円 を予定しております。

# 株主優待制度について

株主の皆様の利用機会の拡充及び利便性の向上に寄与するべく、株主優待券の有効期限を変更（延長）させていただくことといたしました。

基準日	発行時期	有効期限	
		変更前	変更後
毎年3月31日	毎年6月下旬	12月31日	翌年3月31日
毎年9月30日	毎年12月上旬	翌年6月30日	翌年9月30日

詳細につきましては、2023年4月12日公表の「株主優待券の有効期限変更に関するお知らせ」をご参照下さい。



# 2023年度 事業運営方針

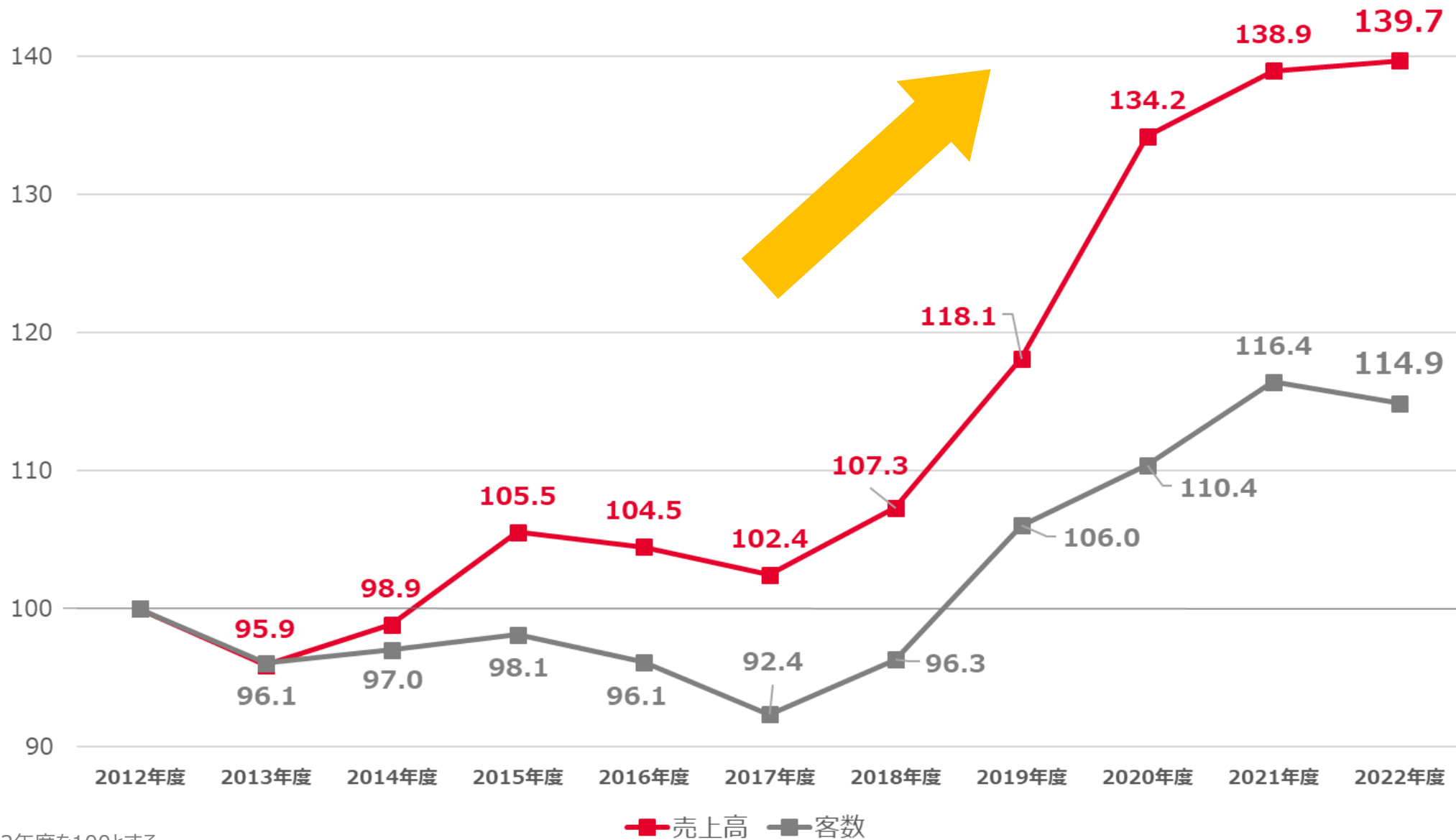
代表取締役社長 判治 孝之

# 経営環境

	消費行動の変化	事業へのインパクト
インフレ・円安の進行 エネルギー価格の高騰	<ul style="list-style-type: none"><li>生活防衛意識の高まり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>食材価格・物流費の高騰</li><li>建築資材の高騰</li><li>光熱費の上昇</li></ul>
経済活動の正常化	<ul style="list-style-type: none"><li>選択肢の広がり（外食・中食）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>コロナ禍で上昇したテイクアウト、ドライブスルー需要が一服</li><li>イートイン需要、インバウンド需要の回復</li></ul>
ライフスタイルの変化	<ul style="list-style-type: none"><li>在宅勤務の定着、デリバリー利用の日常化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>販売チャネルの拡大</li></ul>
人財獲得競争の高まり	<ul style="list-style-type: none"><li>賃上げ実施の拡大、人手不足</li></ul>	
サステナビリティ経営	<ul style="list-style-type: none"><li>自然環境への配慮</li><li>ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li><li>地域社会への貢献</li><li>健康経営の推進</li></ul>	



# 既存店売上高・客数推移



※ 2012年度を100とする

# 成長戦略：重要施策の継続的实施

持続的成長に向けて、以下の取り組みを継続的に実施

KFCをアプリデイブランドへ	もっと近くに、より快適に		
<ul style="list-style-type: none"><li>魅力的な商品・プロモーションの展開</li><li>適切な価格戦略</li><li>個食需要への対応</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>積極出店</li><li>戦略的改装の推進</li><li>セルフレジの導入</li></ul>		
デジタル戦略：	デリバリー対応の強化	オンラインオーダーの進化	CRM強化
「安全・安心なおいしさ」の追求			
<ul style="list-style-type: none"><li>QSC×H活動の徹底</li></ul>			
事業成長の基盤拡充			
<ul style="list-style-type: none"><li>DX推進・ITインフラの整備</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>サステナビリティ推進</li></ul>	

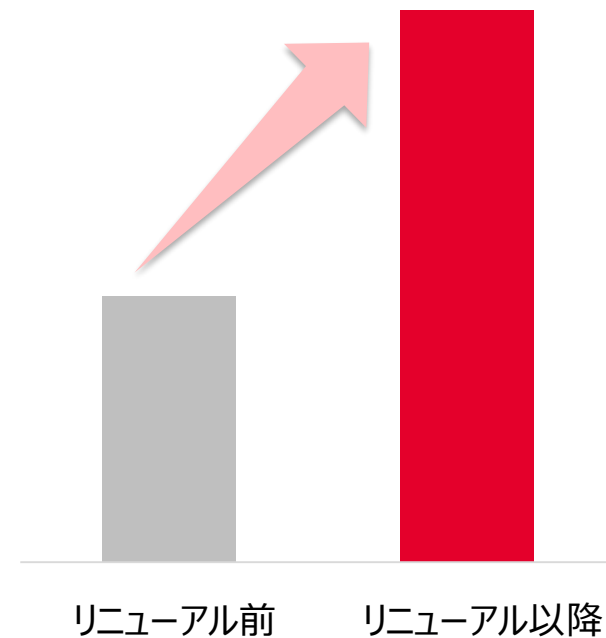
# KFCをエブリデイブランドへ

バーガーリニューアル 「KFC BURGERS誕生！」 2022年10月～



バーガーの大幅な成長！

+30%



\* リニューアル前後のバーガーの販売数  
前：2022/4/1～2022/10/11  
後：2022/10/12～2023/4/30

# KFCをエブリデイブランドへ

## KFCファンを増やし、更なる日常化につなげる

### 魅力的な商品・プロモーションの展開

オリジナルチキンを中心とした定番商品の磨きこみ

あらゆる場面や時間帯のニーズに合った商品・サービスの展開



チキンのスペシャリストとして、お客さまのご期待にこたえる商品・メニューの開発

# 積極出店・戦略的改装の推進

「近くに店舗があればもっと利用するのに…」というお客さまのニーズに応える

## 積極出店・改装



	期末店舗数	前期末比（純増）	改装店舗数
2022年度（計画）	1,192店舗	+20	185
2022年度（実績）	1,197店舗	+25	180
2023年度（計画）	1,230店舗	+33	197

# 積極出店・戦略的改装の推進

「近くに店舗があればもっと利用するのに…」というお客さまのニーズに応える

## 積極出店・改装



1200店舗達成

ミーナ天神店（福岡）  
2023年4月28日オープン



# 利便性・購買体験価値の向上

## デリバリー対応の強化

Uber  
Eats

Demaecan

Wolt

menu



ピックアップロッカー



### アプリとネットオーダーの連携

KFCアプリ 2600万ダウンロード達成  
KFCネットオーダーの進化

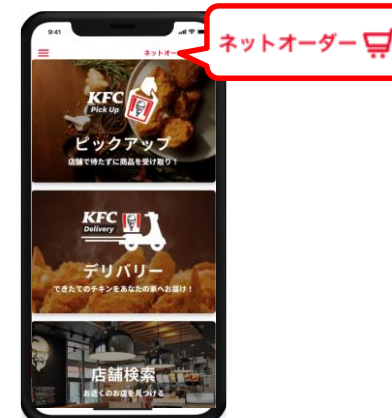


	2021年度 実績	2022年度 実績	前期末比
デリバリー 実施店舗数	597	718	+121

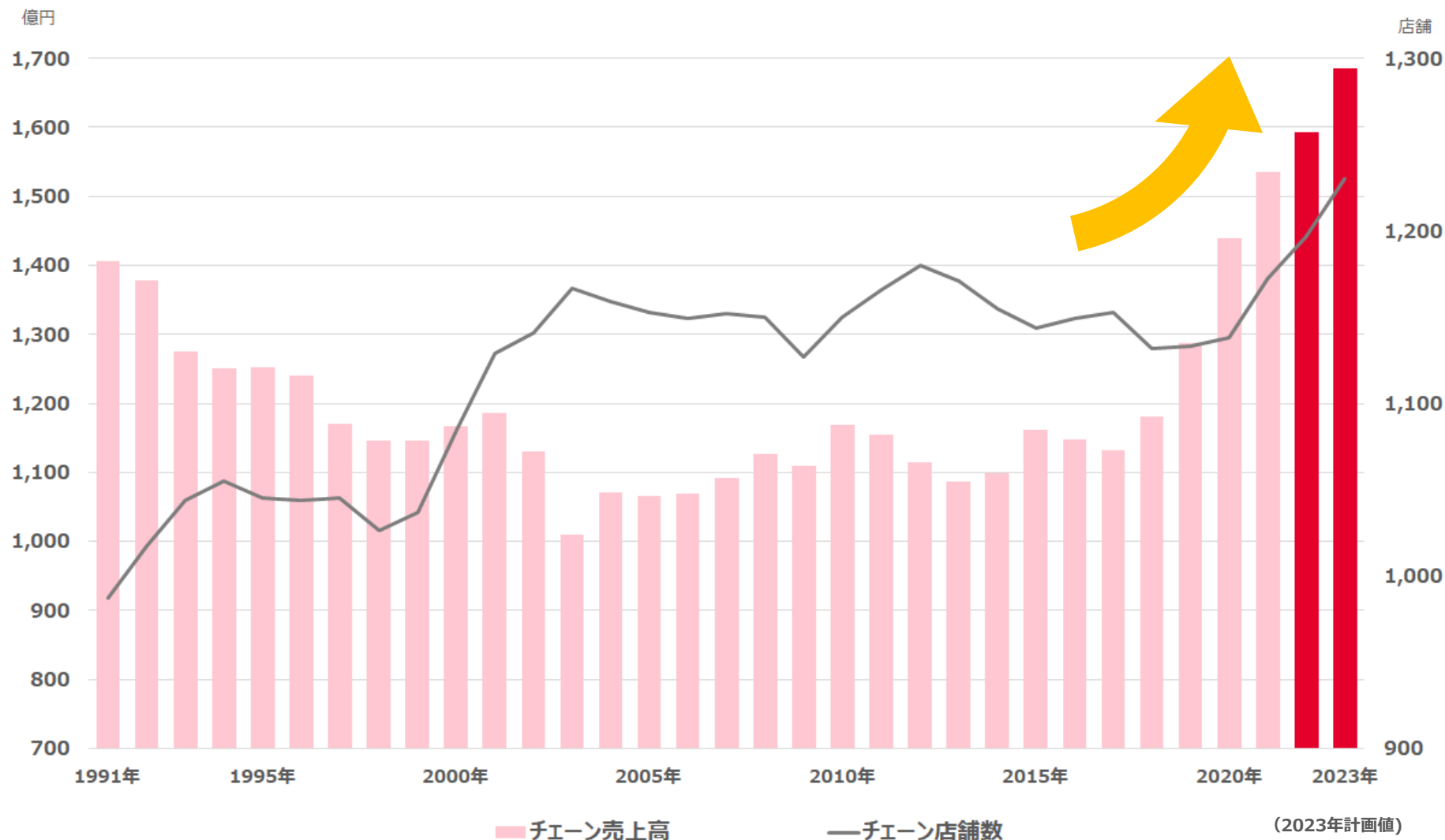
## デジタル戦略



スマートデバイスを中心としたデジタルメディアの機能強化により、お客さまの体験価値を高める



# 成長戦略：KFCチェーン売上高／店舗数（1991年-2023年）



2023年度 計画	
チェーン売上高	1,685億円
チェーン店舗数	1,230店舗

2022年度 実績	
チェーン売上高	1,593億円
チェーン店舗数	1,197店舗



# 2023年度計画

	2023年度 計画	2022年度 実績	前年比
チェーン売上高	1,685億円	1,593億円	+5.8%
既存店 平均月商	1,200万円	1,147万円	+53万円
連結営業利益	30億円	36億円	▲5億円
連結当期純利益	20億円	24億円	▲4億円
店舗数	1,230店舗	1,197店舗	+33店舗
改装店舗数	197店舗	180店舗	+17店舗
デリバリー 実施店舗数	839店舗	718店舗	+121店舗



本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

***KFC***